

学習課題

みんなでかいつしたい
もんだい

文章に書いていないことについて調べて書きたし、
もっと詳しく説明しよう。

主体的に学習に
取り組む態度

わかること・できること

知識・技能

⑦ 文章にある物事の順序の関係がわかる。(2ア)

考えること・あらわすこと

思考・判断・表現

① 順序に気をつけて文章を読み、内容の大体を考える。(C1ア)
② 文章に書いていないことを調べ、大事な言葉を選んで順序よく説明する。(C1ウ)

くふうして学ぼうとすること

④ 『さけが大きくなるまで』を何度も読み、大事な言葉を選んで説明文を書くことで、自分が調べた内容や自分の考えをわかりやすく伝えようとしている。

【だい3 ステージ (2) 時間】

評価 ㊦

〈こんな学びでこんな力を！〉

⑧⑨調べたことを加えて、説明する文章を書く。説明する文章を読み合い、学習を振り返る。

【このたんげんをとおしたふりかえり】

振り返りの観点

・順序を考えて読むとき、どのようなことに気をつけましたか。
・説明する文章を書くとき、どのようなことに気をつけましたか。

【だい1 ステージ (1) 時間】

〈こんな学びでこんな力を！〉

① さけ以外の生き物の成長が書かれた説明文を読んで、情報のつけたしとはどのようなことか話し合う。情報をつけたし、もとの文章より詳しい説明文を書くために必要な学びのプランを立てる。

【だい2 ステージ (6) 時間】

評価 ㊦㊧㊨

〈こんな学びでこんな力を！〉

②③ 『さけが大きくなるまで』を読み、さけが大きくなるまでの様子をまとめる。
④⑤ 文章の中にある大事な言葉を選び、文章に足りない説明を探して問いを作る。
⑥⑦ 問いの答えを本やインターネットで調べる。

どのような言語活動を通してどのような力をつけてきたか？

【このたんげんにかかわって知っていること・できること】

段落の大事な言葉からわかったことをまとめ、自分の考えについて、文章に書いてあることをもとに理由をはっきりさせて表す。



小学校2年『さけが大きくなるまで』授業のポイント

単元名 順序に気をつけて読み、情報を加えて説明しよう



本教材は、さけの成長過程について詳しく説明した文章です。「問いを立てて答える」かたちで説明が進んでいきますが、さけの成長段階を時間的順序にそって捉えることが求められます。児童は、季節や時間を表す言葉、さけの名称の変化、さけの大きさを表す言葉などに着目し、その移り変わりを整理することが考えられます。

1 単元で身につけたい資質・能力

本単元では、文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力を身につけます。書き手が述べている時・場所・大きさや様子を表す言葉に注目しながら、段落のつながりを意識して読むことで、語彙を増やしながら様子に気をつけて読んだり、教材文のように詳しく説明したりすることができるようにします。

2 評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 …(2ア)
思考・判断・表現	・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。…C(1)ア ◎「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 …C(1)ウ
主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く時間や事柄の順序を考えながら内容の大体を捉え、学習の見通しをもって情報と情報との関係に気づき、文章を読んで不足している情報を詳しく説明しようとしている。

本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、文章の順序にそって、教材文にさらに詳しい説明を加えていきます。教材文全体の構造を把握し、教材文に記述のない物事の順序や様子を補足して説明する文章にまとめます。

第3ステージ⑧の段階において、教材文に記述されていない情報から作った問いの答えを説明することができるようにします。その説明には、順序や様子をわかりやすくするための言葉を取り入れて200字程度で記述します。そして、児童それぞれの作品を集めて、学級でバージョンアップさせた新しい『さけが大きくなるまで』にまとめます。言語活動として設定した「説明する文章を書く」ことを通して、目標の実現状況を評価します。

【『さけが大きくなるまで』の文章に書かれていない情報を書きたした説明(例)】

「夏のさけ」 夏になると、さけは川口から海へ出て、まずは北海道の北にあるオホーツク海です。そのあとに東へむかい、つぎの年の夏にベーリング海へ入り、さむくなるとアメリカのアラスカわんですごします。あたたかくなるとまた、ベーリング海にもどります。これを三年も四年もくりかえし、海をおよぎ回ります。	「さけの天てき」 さけの多くは、海でさめやあざらしに食べられてしまいます。しかし、さけの天てきが、海にはほかにもいます。天てきとは、自分のことを食べてしまうこわいあいつのことです。 同じ魚では、ほつげやひらめに食べられてしまいます。あざらしと同じほにゆうるいというどうぶつでは、どこにも食べられてしまいます。海の上、空からは海鳥にねらわれています。体がしっかりしているのも、広い海で、さけが生きていくのは大へんなのです。
---	--

解説 説明する文章は、学級で分業制にして書く。教材文からバージョンアップを図り、学級オリジナルの説明文にしていく。その際は、全くの創作ではなく、教材文中の一局面にあてはまるように、教材文の文脈を意識して書く。文章には、見出し、説明文を記述し、挿絵を描いてもよい。説明は、2～3段落で構成し、時・場所・大きさや様子を表す言葉を取り入れる。また、製本する場合は、教材文の展開にそようにする。

ワンポイント

教材文にない情報を探して、問い作りに挑戦！！

【教材文にない情報を探すメモ例】

② わからないこと さけを食べるそのほかの生き物	◎ わかっていること ・秋はたまごをうむ。 ・冬は生まれる。 ・春は海にもかう。	③ わからないこと さけの夏の様子	◎ わかっていること ・秋はたまごをうむ。 ・冬は生まれる。 ・春は海にもかう。	【30字程度の問いの文章】 さけを食べるそのほかの生き物は、さめやあざらしのほかは何がいるでしょうか。	【解説】 夏の間は、さけはどのような様子ですごしているのでしょうか。	さけが大きくなる様子についてわかっていることを整理した中で、教材文にない情報を明らかにし、問いを30字程度にまとめている。
-----------------------------	---	----------------------	---	--	---------------------------------------	---

解説

さけが大きくなる様子についてわかっていることを整理した中で、教材文にない情報を明らかにし、問いを30字程度にまとめている。



ラーニング・マウンテンについてはこちらから

ラーニング・マウンテン

— 学びのプランを立てよう —

【2下「さげが大きくなるまで」】

たんげん名〔

〕 ぜんぶで () 時間^{じ かん}

みんなでかいけつしたい
もんだい

わかること・できること

^{かんが}考えること・あらわすこと

くふうして学ぼうとすること

【だい **3** ステージ () 時間】

〈こんな学びでこんな力を！〉

.....
.....

【だい **1** ステージ () 時間】

〈こんな学びでこんな力を！〉

.....
.....

【だい **2** ステージ () 時間】

〈こんな学びでこんな力を！〉

.....
.....
.....
.....

【このたんげんをとおしたふりかえり】

ゴール



スタート



【このたんげんにかかわって知^しっていること・できること】

.....